



色で多様性を表現するレインボーフラッグ

Q 多様性の支援の実用性は

おがわ ひろみ
小川 尋海 議員



A 可能な限り結婚などと同様に対応していく

問 今年度より、鶴ヶ島市パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度が開始された。他自治体で利用できる行政サービスについて、本市では利用可能か。

答 保育所などの送迎は、事前に登録することで宣誓制度利用者や同性パートナーでも可能である。宣誓制度を利用する職員への給与制度（扶養手当など）や休暇制度（結婚休暇など）はない。他自治体の状況を踏まえて検討する。

問 市内事業者への働きかけは、医療、福祉及び住まいの配慮が必要であり、一般社団法人坂戸鶴ヶ島医師会、医療機関及び不動産業者に宣誓制度の趣旨を周知、啓発した。

問 性の多様性への支援の目標

とその実現のために今、市としてやるべきことは。

答 多様な生き方や価値観を認め合う社会の実現を目指し、制度を導入した。県内で同様の制度を導入した他自治体との広域的な連携を進める動きもあり、これに賛同し、調整を図っていく。

◎その他の質問

一 ワクチン助成金で最高の予防医学を

二 フッ化物物でむし歯予防の取組を

Q 安心・安全な情報化の推進を

A 行政サービスを安定的に提供できるよう努める

たかしの まさひろ
高篠 雅洋 議員



問 スマホ教室の参加状況は。

答 昨年度に比べ減少している。

問 非常時の学校から保護者への情報提供は。

答 2月実施の教室は、講義内容の難易度を変えた2コースを開催予定である。

問 校務支援システムで保護者へ通知し、各小・中学校が発信する情報を保護者などが見れるようにしている。

問 スマホのヘルプデスクなど、個人向けの指導は。

答 スマホよろず相談を実施している。

問 非常時の情報発信に係る訓練状況は。

答 全庁を挙げての災害対策本部設置訓練で実施しているが、情報発信の難しさを感じている。

問 行政システム活用推進事業の予算で、維持管理費の割合は。

答 約89%である。

問 維持管理に莫大な費用や人件費を要しているが、クラウドの利用を検討してみても。

答 メリット、デメリットなどを検討しながら、経費削減や職員の負担軽減も含めて考えたい。

◎その他の質問

一 一本松駅南口改札開設に向けた取組状況は。

二 複合施設（旧西中学校）意見募集状況は。



安心・安全な情報化の推進を